

Blue Prism v6.3

デジタルワークフォースの成功に貢献

効果的なデジタル戦略には、人工知能（AI）、機械学習およびセンチメント分析などのテクノロジーが業務部門と容易に統合され、価値を提供する、連携するエンタープライズが必要です。Blue Prismは、業務を真の機敏性でデジタル化するためのパワーを与える「デジタルワークフォースのためのオペレーティングシステム」であり、デジタル戦略の迅速かつセキュアな展開を促進します。

概要

v6.3提供する革新的な機能は、スケーラビリティ、柔軟性、セキュリティの強化を中心としたものです。また、バージョン 6.3が提供するデジタルワークフォースプラットフォームは、業務部門主導での導入が可能なほか、次の機能を備えています。

- マルチチーム環境
- Google Chromeのネイティブサポート
- 電子メールの自動化機能を拡張する、新しいOutlook Email VBO

Blue Prismはマルチチーム環境を備えた初のRPAプラットフォームとして、新たなレベルのセキュリティとスケーラビリティを提供します。マルチチーム環境を使用すると、各種のオブジェクト、プロセス、リソースを組み合わせて利用し、RPAを大規模に拡張して、様々なレベルのアクセス権と権限を提供することができます。マルチチーム環境なら、エンタープライズ全体でより簡単かつ安全にリソースを共有できます。



バージョン 6.3では、Google Chromeがサポートされるため、特定用途向けのソリューションでChromeを直接自動化することができます。また、Chromeブラウザを介して提供されている社内のWebベースのアプリを含め、Chromeで最適に表示または動作するように設計されたWebページでの操作が可能になります。

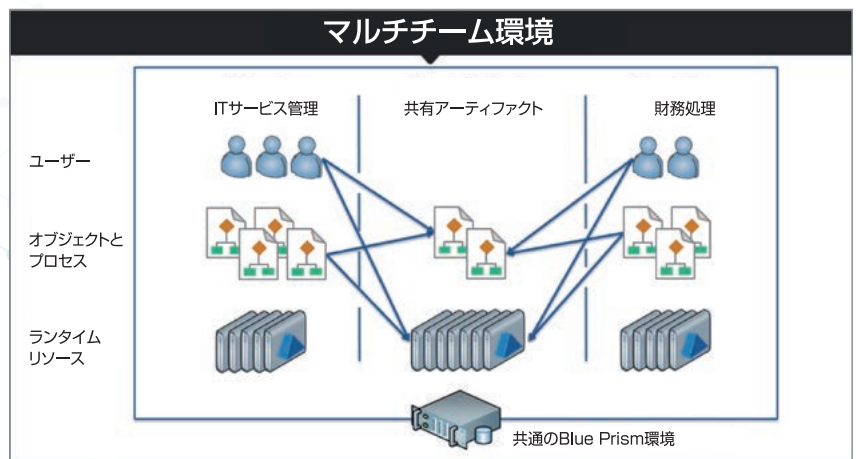
機能とメリット

マルチチーム環境 - Blue Prismはマルチチーム環境を導入した初のRPAプラットフォームです。マルチチーム環境を利用すると、単一の環境でデジタルワーカーや複数の事業部門のプロセスを管理することが可能になります。また、マルチチーム環境は次の機能を提供します。

- 各種のオブジェクト、プロセス、リソースを組み合わせることで、RPAを大規模に拡張し、エンタープライズにおいて真のデジタルトランスフォーメーション戦略を推進できます。
- 複数のチームを作成し、Blue Prismプラットフォームの中心的要素であるプロセス、オブジェクト、リソースに対する様々なレベルの権限とアクセス権を設定できます。
- 必要なオブジェクト、プロセス、リソースに関する特定の権限をユーザーに割り当てることができるように、権限構造がさらに詳細になりました。

Chrome のサポート - Blue Prism v6.3 では、Blue Prism Chrome 拡張機能を使用することで、Chrome 内の Web ページとアプリケーションの自動化がネイティブでサポートされます。Chrome のサポートにより、Chrome に表示される Web ページやアプリケーションを Blue Prism で操作できるようになるため、Chrome ブラウザに表示されるアプリケーションに依存している業務プロセスを容易にモデル化できます。Blue Prism アプリケーションモデラーウィザードが、新しく追加されたブラウザベースアプリケーション (Chrome) モードによりアップデートされました。これにより、Chrome の各要素を監視してビジネスオブジェクト内で使用できるようになります。

新しいOutlook Email VBO - 電子メールや添付ファイルの送信、削除、取得、保存など、Outlook内の電子メールを処理するアクションを多数提供する新しいMS Outlook Email VBOが利用可能になりました。新しいこのVBOを使用することで、ドラッグアンドドロップのような簡単な操作で、業務プロセス内の電子メールを自動化できます。



Blue Prism のカスタマーポータルにアクセスし、バージョン 6.3 と、マルチチーム環境および Chrome 拡張機能のユーザーガイドをダウンロードして、本リリースが提供する次のビジネス上のメリットを存分にご活用ください。

効率向上 - マルチチーム環境の導入により、共有環境内で、1つのCOEから複数の業務部門にサービスを提供することが可能になります。

容易に管理 - マルチチーム環境では職務を分けることができるため、デジタルワーカーの管理を強化できます。

セキュリティとスケーラビリティ - マルチチーム環境を導入すれば、エンタープライズ全体で詳細な設定が可能なプラットフォームを使い、自動化のセキュリティとスケーラビリティを向上できます。

コンプライアンス - マルチチーム環境を使用し、権限に基づいて特定のユーザーにのみプロセスの構築とアクセスを許可すれば、特定のユーザーにのみ特定のオブジェクトとプロセスが表示されるようになるため、コンプライアンスを確保できます。

AIの大衆化 - Blue Prismなら、再利用可能なオブジェクト指向コンポーネント (VBO) を使用して、最新のコグニティブ技術を組み込んだ自動化をこれまでにないほど容易に実現できます。